

お待たせしました!
お客様からの多くのご要望にお応えして

樹木葬

新区画 おひつじ座

新生! 誕生!

桜の木の下で
安らかに眠り
自然へ還る。

【個人葬用】(1区画) 29.8万円
【お二人葬用】(2区画) 39.8万円

33年後 安心の永代供養【合祀】
葬後33年経過後は、合葬供養で永代供養いたします。合祀についてはお任せください。費用は一切不要です。
※本人葬の場合は、お二人葬の葬儀費は2倍となります。

管理料 不要
墓石 不要

お客様からの多くのご要望にお応えして樹木葬の新区画がコスモガーデン桜ヶ丘にて誕生しました。その名も「おひつじ座」。桜の木の下で安らかに眠り自然に還る樹木葬もおかげさまで大変ご好評いただいております。

「樹木葬 新区画誕生」



❀ ご見学やご相談は、お電話での事前
予約をおすすめいたします。❀

☎ 0120-087-052

第六十八号

会報 浄土真宗 太陽の会

「新元号 「令和」

四月一日、平成
に変わる新元号

を「令和」（れい
わ）として政府

が公表した。出

典は『万葉集』

の梅花の歌の序

文「初春の令月

にして気淑く風

和ぎ、梅は鏡前の粉を被き、蘭は珮（はい）

後の香を薫らす」から引用されました。

「令」には、「おきて」「命令」「良い」

などの意味があり、「和」は「調和」や

「平和」などに使われます。これまで漢

籍（中国古典）を出典として決められてい

ましたが、「大化」から始まり二百四十



八番目、現在確認されているものの中で
は初めてのことです。首相談話で安倍首
相は、「春の訪れを告げ、見事に咲き誇
る梅の花のように一人ひとりが明日への
希望とともに、それぞれの花を大きく咲
かせることができる、そうした日本であ
りたいとの願いを込め、決定しました。」
と述べられました。

「昭和」から「平成」に変わる時は、
昭和天皇崩御で国民が悲しみに暮れた代
替わりでしたが、今回の「令和」は大き
く変わります。「平成」を国民とともに
伝統を大切に、国民に寄り添って歩ん
でこられた天皇后両陛下。時代にあつた
皇室へと変わるために二百二年ぶりの今
上天皇の退位が決まっています。「令和」
という年が皆様にとりまして良い平和な
時代になりますように五月一日の改元を
迎えたいと思います。

「春季彼岸会」



春季彼岸会が平成三十一年三月二十三日(土)太陽の会、三階本堂にて執り行われました。太陽の会の法要の中でも彼岸会は多くの方にご参拝していただいております。本年も午前と午後に分けて二回の法要となります。この日も延べ約二百五十名様のご参拝をいただき、彼岸会法要を勤めさせていただきました。法話では磯貝導師から苦しみ・迷いのある今生からお浄土という私たちの最終目的地に生まれ行くことができる阿弥陀さまとの尊いご縁のお話しいただきました。



「花まつり週間4月8日」

お釈迦さまの花まつりを四月八日

(月)～四月十四日

(日)当会館にてお

釈迦さまの誕生を

祝い、お接待用の

甘茶を用意させて

いただきました。

多くの人にお釈迦さま

に甘茶をお掛けいただき、お釈迦さまの

ご生誕をお祝いいたしました。太陽の会

の恒例行事とさ

せていただいで

おりますので、

お飾りさせてい

ただいでいる期

間にご縁があり

ましたら、どう

ぞご参加いただ

きたいと思いま

す。



「広島 太陽の塔 彼岸会」

春季彼岸会が平成三

十一年三月十五日

(金)十六日(土)の二

日間太陽の塔、高天原

(広島)法要室にて執

り行われました。約二

百名というたくさん

のご参拝者の方々と

正信偈をお唱えさせ

ていただきました。

「広島竜王院」

広島竜王院では春

季彼岸会をはじめ

様々な法要をさせて

いただき会員の皆様

とのご縁をいただ

いております。



「クイズ浄土真宗」

Q、浄土真宗の本尊は？

① しやかむにぶつ
釈迦牟尼仏

② あみだぶつ
阿弥陀仏

③ かんのんぼさつ
観音菩薩

本尊とはもつとも大切に行っている信仰

の対象であり、生涯を通して心の依りどころとなってくださる方のことです。仏教では、究極的には、真理そのものが本尊なのでしようが、私たちは具体的な私たちやほたらきを通して真理に触れるわけですか



ら、多くの場合、真理に導いてくださる仏、菩薩が本尊になります。釈迦牟尼仏、薬師仏、観音菩薩などで、密教系の不動明王、日蓮系の題目、真理を絵画化した曼荼羅も本尊として崇められています。

浄土真宗は、
すべての人びと

をもらさず救おうと大悲のはたらきをかけてくださる阿弥陀仏に、自らをひたすらゆだねていく教えですから、本尊は阿弥陀仏一仏であり、阿弥陀仏の本願のはたらきが詰まった「南無阿弥陀仏」の番号も本尊として仰いでいます。①の釈迦牟尼仏は、「阿弥陀仏の救い」を説いて、私たちに勧めて下さる方と見ます。③の観音菩薩は、阿弥陀仏の元で修行をされている身で、阿弥陀仏をお手本にされている方です。

Q、浄土真宗の本尊は？

クイズの答え・②



「歎異抄を読む」 たんにしよう

『歎異抄』は、親鸞聖人が亡くなった後、門弟の間に真実の信心に背く異議が生じたことから、聖人から口伝を受けた著者が、同心の行者の不審を除くために著した親鸞聖人の言語録です。



弥陀の誓願

不思議に

たすけられまらせて

釋蓮如(『歎異抄』第一条)

私の願いは自己中心の願い

真実の願いに耳を傾けよう

私の願いは、自分の欲望を満たそうとする自己中心の願い。阿弥陀さまの願いは、知恵と慈悲の領域から出てきた真実の願い。すべての人を必ず救うという願いであるとともに、それがかなわなければ仏に成らないという誓い。誓願という。

「月のことば」十二月～四月

太陽の会では、館内入口・本堂入口に「月のことば」を掲載させて頂いております。お経は難しいと思われる方もいらっしゃると思いますが、身近なやさしいお経として皆様のお心で味わって頂けたら幸いです。

【十二月のことば】

信心あらん人むなしく
生死にとどまることなし

「一念多念文意」より

阿弥陀さまの本願力に遇うことは、本願力を信ずるといふこと。その人はこの迷いの現世にとどまって流され続けるといふことはなくなりません。それは、南無阿弥陀仏の尊いお徳がその信心の人にみちみちて下さるからなのです。

【一月のことば】

み仏の誓いを信じ
尊いみ名を 唱えつつ
強く明るく生き抜きます

【二月のことば】

み仏の光り仰ぎ
常にわが身を かえりみて
感謝のうち励みます

【三月のことば】

み仏の教えに従い
正しい道を 聞きわけて
まことのみのりをひろめます

【四月のことば】

み仏の恵みをよろこび
互いにうやまい たすけあい
社会のために尽します

一月から四月

「浄土真宗生活信条」

浄土真宗の生活信条は、
一九五八（昭和三十三年）四月
月十六日に発布され、大谷本

廟親鸞聖人七百回大遠

忌法要「御満座の消息」

において勝如上人（第二十三代門主）がお示しに

なされたものです。

浄土真宗 太陽の会

令和元年 行事予定

○合同追悼法要（三原・福山西太陽霊園）
開催日5月11日（土） 11時より

○盂蘭盆会

開催日8月13日（火） 2部制
午前11時／午後14時より

○秋季彼岸会 合同追悼法要

開催日9月23日（月） 2部制
午前11時／午後14時より

○報恩講 合同追悼法要

開催日11月16日（土） 11時より

※法事やお齋（会食）の会場貸の予約を承っております。込み合う時期がありますので、早めのご予約お願い致します。なお法要室は宗旨・宗派を問わずご利用いただけます。（法務担当者）

